

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390500342
事業所名	高齢者グループホームかめじま

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 敷地内には地域住民が集う「ふれあいセンター」があり、事業所からも数名が認知症カフェに参加できています。他にも建物の中にはサービス付き高齢者向け住宅や喫茶コーナーと「地域資源が集積している」ものの未だ感染症警戒体制が解けずもどかしい状況です。目前に在る公園では隣にある保育園から出てきた子どもの遊ぶ様子を眺めて和む日もあります	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 未だ感染終息とはならない為、多人数での参加は控えています。家族をはじめ事前に意見を収受し、往診の日に医師・看護師と管理者・リーダーで顔を合わせ、短時間での開催としています。会議内容は地域包括支援センターと電話などで連携を図り、意見収受のうえ管轄窓口へ届けています	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 名古屋市での配信情報が都度入っており、必要に応じてホームページを開けて、該当書面をダウンロードしています。また、地域包括支援センターからは空室の問い合わせもあり、何かと気にかけてもらえています。コロナ禍で出来上がった関係が習慣となっていて区役所とは電話でのやりとりとなる事が少なくないのですが、運営推進会議の報告は窓口に出向いています	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入浴などマンツーマンの場面ではニーズを超えてウォンツを聞き取ることも叶い、本人の要望から「誕生日に喫茶店に行く」といったことが実現しています。また、家族はこまめに来所くださり、本人の好きな果物の差し入れもあります。おこづかいを預かっていても「家族が先に動いてくださる為、各種在庫が途切れない」程、関係は良好です	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	○	○	○							